

第157回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象> 伊丹市内の主要企業 150 社
 <調査方法> 郵送によるアンケート調査方式
 <比較方法> 景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較
 <有効回答数> 150 社中 70 社（一般 27、食品工業 10、商業 11、建設業 9、運輸業 8、サービス業 5） 回答率 46.6%

調査結果

【伊丹市内企業の経営動向について】

産業別DI（景気動向指数）とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向（増加・好転など）の回答割合からマイナス傾向（減少・悪化など）の回答割合を差し引いたもの。

景況天気図				
	晴れ(好調)	曇り		雨(不振)
DI 値	+30	+10	▲10	▲30

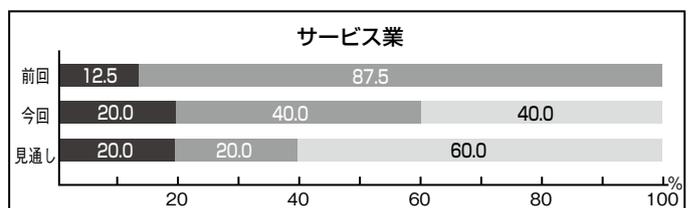
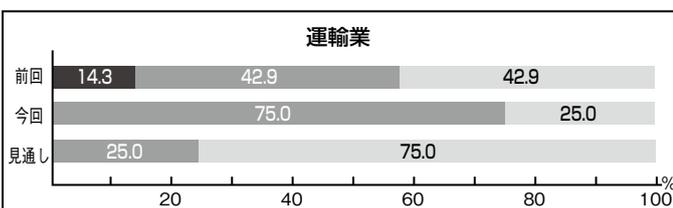
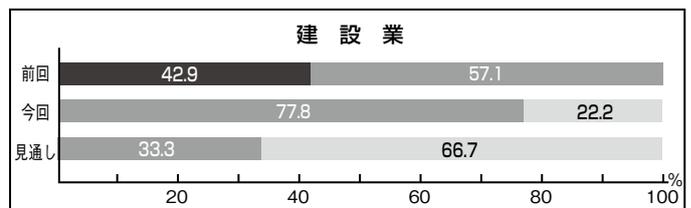
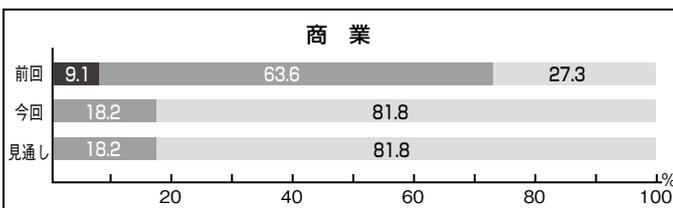
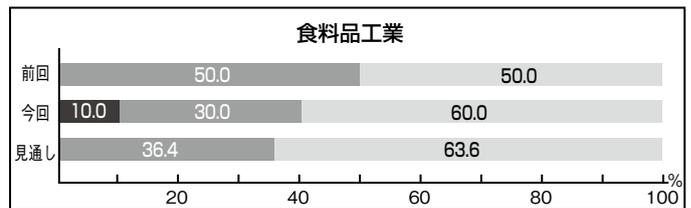
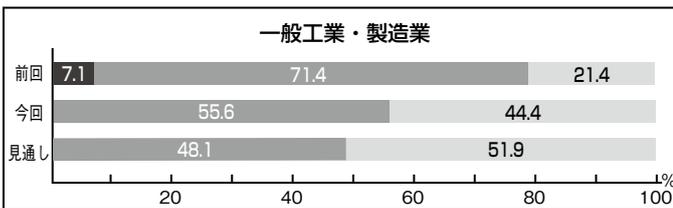
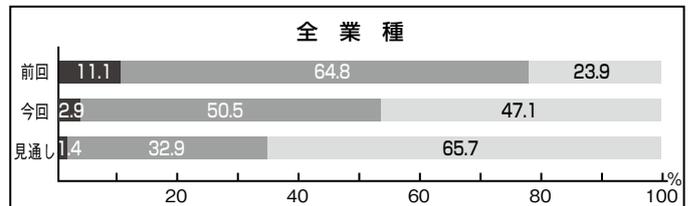
DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

全業種	業況		売上		採算		仕入単価		従業員	
	景況	DI	景況	DI	景況	DI	景況	DI	状況	人数
全業種		▲57.1		▲47.1		▲48.6		▲47.1	かなり不足	30.0
一般工業		▲66.7		▲51.9		▲59.3		▲44.4	不足	14.8
食品工業		▲60.0		▲60.0		▲70.0		▲40.0	かなり不足	30.0
商業		▲54.5		▲63.6		▲45.5		▲45.5	かなり不足	36.4
建設業		▲33.3		▲11.1		▲22.2		▲66.7	かなり不足	44.4
運輸業		▲50.0		▲25.0		▲12.5		▲37.5	かなり不足	37.5
サービス業		▲60.0		▲60.0		▲60.0		▲60.0	かなり不足	60.0

【伊丹市内企業の景気動向について】

今回の調査結果（回答 70 社）によると、令和 2 年 1～3 月期の景気実績は「上昇」回答 2.9%（前回 11.3%）、「下降」回答 47.1%（前回 23.9%）、景気見通しは、「上昇」回答 1.4%、「下降」回答 65.7%となった。

グラフの表示 ■ 上昇 ■ 横ばい ■ 下降



<新型コロナウイルスの発生による影響>

①売上（生産高）への影響

	出ている	今後出る可能性あり	特になし
全業種	24	39	7
一般工業	8	18	1
食料品工業	5	4	1
商業	6	3	2
建設業	1	7	1
運輸業	1	6	1
サービス業	3	1	1

④仕入の困難などは

	発生している	発生する可能性あり	発生しない
全業種	17	28	25
一般工業	6	12	9
食料品工業	3	4	3
商業	3	6	2
建設業	4	4	1
運輸業	1	0	7
サービス業	0	2	3

②資金繰りなどの状況

	悪化している	悪化する可能性あり	変化なし
全業種	6	24	38
一般工業	1	14	12
食料品工業	1	6	3
商業	2	3	6
建設業	0	1	8
運輸業	0	1	7
サービス業	2	1	2

⑤時差出勤やテレワークなどの取組みは

	導入済	導入予定	予定なし
全業種	12	9	49
一般工業	7	5	15
食料品工業	2	1	7
商業	1	3	7
建設業	1	0	8
運輸業	0	0	8
サービス業	1	0	4

③雇用調整は

	発生している	発生する可能性あり	発生しない
全業種	5	22	43
一般工業	3	12	12
食料品工業	0	3	7
商業	1	2	8
建設業	0	2	7
運輸業	0	1	7
サービス業	1	2	2

⑥休校に伴う人員不足は

	発生している	発生する可能性あり	発生しない
全業種	2	23	45
一般工業	0	13	14
食料品工業	1	1	8
商業	0	1	10
建設業	1	5	3
運輸業	0	2	6
サービス業	0	1	4

<具体的な状況や対策など>

- ・時差出勤などの取組みを導入済（食料品工業）
- ・作業着や靴、手袋などが入荷しにくくなっている。マスク在庫ゼロ（製造業）
- ・時差出勤の奨励や出社時の体温測定など感染症対策を行っている（製造業）
- ・エタノールやマスクなどの仕入困難が続くと営業に支障が出る（製造業）
- ・中国のサプライヤーからの部品が止まっており資金繰りの悪化がすでに始まっている（商業）
- ・展示会の参加見送り、不要不急の外出、来客の中止・延期（製造業）
- ・海外出張や展示会、セミナーの参加を自粛している（製造業）
- ・4月は有休休暇取得奨励月間とする（一般工業）
- ・不要不急の訪問、接客、出張、会合などの自粛を徹底している（一般工業）
- ・電車通勤を禁止し、車やバイクでの通勤へシフトしている（商業）
- ・製造業に時差出勤やテレワークは無理。今後の影響が予測できない（製造業）
- ・マスクやペーパーなどが枯渇している（製造業）
- ・テレワークやフレックス勤務、時差勤務の導入、喫食も時差で行っている（一般工業）
- ・顧客の大半が高齢者につき、外出を控える方が多く、来店客数は予想以上に減少している（商業）
- ・当社の経営は外食産業に依存する率が高いので、今回のようなアクシデントに大変弱い面が浮き彫りになった（食料品工業）
- ・資金繰りの為に国に頼ることになったが、書類作成などが大変複雑で忙しい（食料品工業）
- ・融資は返済能力を査定されるので、この点を熟慮して行動する必要がある（食料品工業）
- ・2月から中国からの住宅設備機器の部品供給がストップしている。代替品で対応しているが、現時点では回復時期不明（建設業）
- ・送別会や他の会合などほとんどの予約がキャンセルになっている（商業）
- ・宅配やテイクアウトの需要はあるものの、店内飲食の来店は直近半減している。対策については検討中（商業）
- ・休校に伴う人員不足は少しの間発生したが、現在は無い。（一般工業）
- ・できるだけ多くの人が集まらないように配慮しているほか、少人数やTV会議などの対策を行っている（一般工業）